

HIV 検査を受ける頻度は？- HIV 検査、パート 3

1 回

13～64 歳の人誰でも、ヘルスケアの一環として HIV 検査を一度は受けるべきです。

年に 1 回

性的、または何らかの物質の注射による感染リスクを持つ人で、そのリスクが継続的なものである場合。



年に 2～3 回

複数の性的パートナーがいてコンドームを使用していない、または違法ドラッグを使用する、注射針を共有するなど、非常に感染リスクの高い行為をしている人。

HIV 検査はいつ受けるべきか？

HIV に感染した可能性があるかと判断できる場合、検査を受けてください。

ただし、HIV に感染して間もない場合は検査で確認されないケースがあります。

感染後すぐに HIV 検査を受ける場合、HIV の感染が認められない場合があります。



HIV 検査では、異質な侵入物に対する身体の自然な免疫応答である抗体の量を検査するからです。あなたの身体は、まだ HIV に対する抗体を作っていないため、検査で感染が確認できないのです。

HIV に感染したら、通常身体は 3～12 週間内に抗体を作り始めます。HIV に感染し抗体を作っている時期を「ウィンドウ期（ウィンドウピリオド）」と呼びます。

近頃では、HIV ウィルス感染後、早い段階で感染を確認できる新しい HIV 検査も受けることができます。新しい検査の中には、血液中の HIV 量であるウィルス負荷を検査することでウィルス自体を確認できるものもあります。この検査では、感染後 9～11 日で HIV を検出することができます。

HIV/エイズに関して疑問がある場合は、必ず解決してください。公衆衛生局または医療機関に問い合わせるか、公共図書館にてお調べください。



Text is from HIV/AIDS sources from the Department of Health and Human Services and adapted by HealthReach and Healthy Roads Media. This project has been funded in whole or in part with Federal funds by the National Library of Medicine award number HHSN276201500011I awarded to the Center for Public Service Communications. Images from iStock.com.